

# 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	32	学校名	吉野高等学校
----	----	-----	--------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域資源活用プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	森林科学科・建築工学科・土木工学科3年生の「課題研究」(15名)、森林科学科2年生の「総合実習」における実習授業として実施。地域資源活用および地域活性化の視点について実学を行った。
連携・協働相手	吉野町役場各課、吉野町観光協会、吉野山観光協会、国栖の里観光協会、一般社団法人吉野と暮らす会、吉野町内各事業所、吉野町教育委員会
地域と共有している目標・課題等	地域創生・関係人口の拡大・地域課題解決の視点育成、吉野町の魅力発信、学校と近隣住民との連携を行った。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>幼・小・中との連携事業や吉野町内の事業所や地域の観光協会と連携し、木製おもちゃのプレゼントや木工作品づくりのお手伝い、また、地域施設に設置する木製ベンチの製作など、地域資源を活用した「地域の魅力発信」を軸に取り組んだ。</p> <p>また、地域課題解決に向けて、事業での取組を各学科の課題研究に取り込み、活気ある授業展開が実施できた。</p>	

## 2. 事業の成果と課題

<p>ここ数年先輩から後輩へ受け継がれる事業へとようになってきていたが、再編での生徒減少や新型コロナの影響もあり事業をスリム化することが求められた。しかし、地域から活動を評価していただく機会も増え、期待をして頂き、様々な協働のお話を多くいただく中で、生徒は意欲的に取り組み、地域との関係を深める事ができた。</p> <p>来年度から、奈良南高校総合学科2年、専攻科1年、吉野高校3年と複雑な生徒構成になる。現在続けている取組がどの様に活動できるかが大きな課題である。</p>
---

